

平成21年6月15日

平成21年度初任職員研修会 参加報告

技術室機械系班 桶田真司

1. はじめに

平成21年度初任職員研修会に参加させていただいたため参加報告をする。

初任職員研修会とは、新たに採用された職員を対象に、職員としての心構えを自覚させるとともに、必要な基礎知識の習得および資質の向上を図る目的で実施される。

2. 概要

主催：独立行政法人国立高等専門学校機構

日時：6月10日（水）～6月12日（金）

会場：国立女性会館 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

3. 日程内容

6月10日（水）13：30～17：30

講話「国立高専とは」

機構本部事務局長 大槻秀明

講話「新しい高専」

教育研究調査室長 市坪 誠

先輩職員講話

機構本部事務局事務職員 水口隼人

福島高専技術職員 杉浦珠実

機構本部事務局事務職員 田淵世利子

小山高専技術専門職員 小林康浩

6月11日（木）9：00～17：30

講義「サービス関係」

機構本部事務局人事課長 堀川俊行

講義「接遇研修」

(株)シーイーアイ 伊藤純子

講義「社会人・職業人基礎力」

(株)Eパートナー 五味潤整・土岐久美子

6月12日（金）9：00～15：00

討議「グループワーク・班別討議」

(株)Eパートナー 五味潤整・土岐久美子

4. 所感

3日間の研修にて、全国55高専89名の職員と交流を深めることが出来たことは、今後の職務上とても有意義である。

また、初日に機構本部の方々から今後の高専運営について直接話を伺うことが出来た。その中から得た情報をここで報告したい。

- ・中央教育審議会答申をよく読む事
- ・一般管理費・経費の圧縮もそろそろ限界では？と感じてはいる。（事務局長）
- ・予算は良いところのみに重点配分

55高専が1つの機構組織にまとめられているスケールメリットは
予算の重点配分が出来ることであると考えているようである。

（何も計画を出さないところはギリ貧経営）

- ・高専の高度化再編

合併を行なう宮城・富山・香川・熊本の高専には、
多くの予算が配分されているようである。

学生の定員数削減は地区の出生率統計から出した数字である。

教職員数は現状維持、さらに学科を増やす話もあるようである。